

令和5年度 施策評価シート

施策の大綱	3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上	評価担当者
基本施策	(5) 広域的な交通拠点性の強化	政策部長 笠井 武洋
目指す姿	市内外の人が、高速交通ネットワークを活用し、広域的な交流・連携を行っています。	
関連する分野別計画		

■ SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	11 住み続けられるまちづくりを 	17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
SDGs推進の考察	人々に安全で便利なアクセスを提供し住み続けられるまちづくりに資するため、リニア中央新幹線の早期全線開業と「リニア三重県駅」の誘致、更には、鈴鹿亀山道路や関連する国道306号川崎庄内バイパス等の事業推進による広域道路網の整備を促進する取組を進めることができた。また、その実現に向けては、官民一体となった期成同盟会組織を通じた取組により、パートナーシップ関係の強化が図れた。今後も、官民一体となった整備促進に向けた取組を強化していく必要がある。	

■関連する主な事業

(単位:千円)

[illegible]

太字：主要事業

■成果指標

	指標	単位	現状値		実績値				目標値
					R4	R5	R6	R7	
1	リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議の会員数	会員	72	R2	72	74			80
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									

■市民アンケート調査

項目			現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察
1	高速道路網が整備されている	重要度 満足度	1.05 0.75	1.11 0.79		
2	リニア市内停車駅の誘致の機運が高まっている	重要度 満足度		0.47 ▲0.15		鈴鹿亀山道路の事業化等の取組により、高速道路網に対する満足度が増加している。一方、リニア県期成同盟会において、リニア県内駅候補地が本市内に決定したものの、リニア駅誘致の機運の高まりに対する市民の重要度・満足度が低い状況にあることから、更なる機運醸成の取組が必要である。
3		重要度 満足度				
4		重要度 満足度				

■施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① リニア中央新幹線市内停車駅の誘致の推進	三重県等関係団体と連携を図りながら、「リニア三重県駅」の誘致に向けた機運醸成のための活動が展開できた。また、リニア基金の計画的な積立てにより、駅周辺整備のための財源確保を図ることができた。
② 広域道路網の強化	期成同盟会を通じた要望活動を行った。また、「新名神と鈴鹿亀山地域の幹線道路整備を進める会」主催の「鈴鹿・亀山みちフォーラム」が開催され、意見発表やパネルディスカッション等を通じて、広く整備促進について周知が図られた。
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

リニア中央新幹線市内停車駅誘致の推進については、三重県等関係団体と連携しながら、リニア中央新幹線の早期全線開業と「リニア三重県駅」の誘致活動を展開するとともに、リニア亀山市民会議の活動支援を通じて、夏休みリニア親子学習会やリニア駅誘致後の未来の亀山ジオラマ作成のワークショップの開催、市内循環バス「さわやか号」へのリニアPRラッピングの掲出など、市民の機運醸成に資する取組が展開できた。更には、計画的な積立てにより、「リニア中央新幹線亀山駅整備基金」の令和5年度末積立残高が約19.6億円となり、リニア駅周辺整備に向けた財源確保も図れた。こうした中、「リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会」において県内駅候補地となった本市内においても、建設主体であるJR東海がボーリング調査を実施し、環境影響評価に着手されたことから、着実に名古屋・大阪間の整備に向けた取組も進められており、四半世紀以上にわたる官民一体の継続的な誘致活動の着実な成果が見られる。その一方で、市民アンケートにおける、リニア駅誘致の機運の高まりに対する市民の重要度・満足度が低い状況にあるため、更なる機運醸成を図る取組が必要である。一方、広域道路網の強化については、鈴鹿亀山道路の早期整備に向け、用地立会や道路設計等が進められるなど、県と連携した取組を促進した。また、当該路線の早期整備と関連する国道306号川崎庄内バイパスの事業推進については、建設促進期成同盟会と連携し、国等へ要望を行ったほか、国道1号関バイパス等の道路ネットワーク整備についても、国・県と事業調整を行うとともに、国等に対し早期着手に向け要望を行った。更に、「鈴鹿・亀山みちフォーラム」を通じて、広域道路ネットワーク強化の必要性を広く周知することができた。今後も、広域道路網の実現に向け、関係機関と連携し取組を進める必要がある。

B

まずまず進んだ

今後の展開方針

「リニア三重県駅」の誘致に向け、リニア亀山市民会議を通じた機運醸成を図るための継続的な取組の展開や会員拡大を図るほか、三重県が策定を進める「三重県リニア戦略プラン」の検討に参画することにより、リニア駅を生かしたまちづくりの方向性について検討を深めていく。また、リニア基金の積立て目標額の達成に向け着実に積立てを行うとともに、名古屋以西のルートや駅位置の公表時期を見据えながら、基金積立て目標額の見直しも検討していく。一方、広域交通網の強化については、引き続き、新名神高速道路の三重県内区間の6車線化をはじめ、鈴鹿亀山道路と国道306号川崎庄内バイパスの早期整備とインターチェンジの設置、更には、一般国道1号関バイパスの事業化区間の早期建設と全区間の事業化について、国・県に要望活動を行い、その実現を目指していく。